

## 取扱説明書

LPガス消費者用

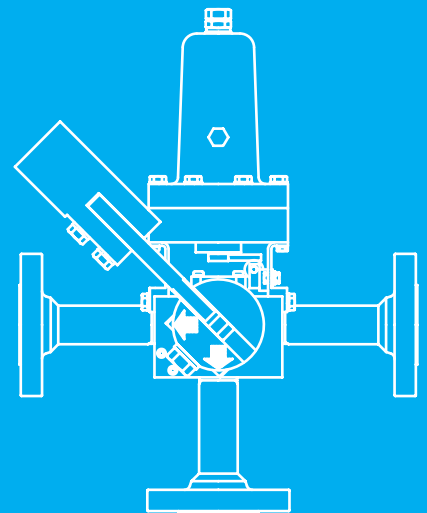
## 設置・施工説明書

設置工事者用

# LPガス液切替装置

BAC-LTN  
BAC-LTS  
BAC-LRN  
BAC-LRS  
BAC-LUS

- 「LPガス液自動切替装置」をお取扱いいただくためのガイドブックです。
- 設置・施工される前並びに、ご使用になる前には必ずお読みください。
- この説明書は、読まれた後、維持管理責任者が大切に保管してください。






# まえがき

---


- このたびは矢崎のLPガス液切替装置をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
とうございます。
- 本製品は、LPガス（液化石油ガス）の消費に伴い、一の系統の容器群の圧力が任意に設定した切替圧力まで降下した場合自動的に他の系統の容器群に切替えLPガスを供給する装置です。
- 本書では、LPガス液切替装置を安全にご使用いただくためその取扱方法及び設置・施工について説明してあります。内容を十分理解してから工事を行いご使用してください。

# 重要情報

## 1. 取扱い上の注意

- (1) LPガス液切替装置は、取扱いを誤ると、LPガスの供給停止やガス事故の原因になりますので、本書の指示に従ってください。
- (2) 本書に記載された  のシンボルは、誤った取扱いをした場合に、あなたや他の人々に危険を及ぼしたり、製品を損傷する恐れのある事項や操作について説明してあります。

## 2. 設置・施工上の注意

- (1) 設置・施工方法を誤ると、設置時の事故や設置後の取扱いにおいて、LPガスの供給停止やガス事故の原因になりますので、本書の指示に従ってください。
- (2) 本書に記載された  のシンボルは、誤った設置・施工をした場合に、あなたや他の人々に危険を及ぼしたり、製品を損傷する恐れのある事項について説明してあります。

## 3. 点検に関する指示

定期交換部品及びメンテナンスは、LPガス液切替装置の機能及び性能を維持するため、定められた周期に定期点検及び部品交換を実施してください。

## 4. ご使用期限

ご使用期限の目安は、ご使用中の維持管理の状況にて、大きく左右されますが設置後10年を経過したLPガス液切替装置については、安全の上からも更新をおすすめ致します。

## 5. 定期点検契約

LPガス液切替装置を安心してご使用していただくため、弊社では定期点検契約制度を設けております。詳しくは、LPガス供給業者又は、弊社の支社・支店にお問い合わせください。

# 目 次

|   |                      |    |  |
|---|----------------------|----|--|
| 1 | 仕 様 (付属部品) .....     | 1  | 仕<br>様   |
| 2 | 外形寸法 .....           | 2  | 外<br>形<br>寸<br>法   |
| 3 | 設置・施工及び注意事項 .....    | 4  | 設<br>置<br>・<br>施<br>工<br>及<br>び<br>注<br>意<br>事<br>項                |
| 4 | 切替圧力の設定方法と注意事項 ..... | 13 | 切<br>替<br>圧<br>力<br>の<br>設<br>定<br>方<br>法<br>と<br>注<br>意<br>事<br>項 |
| 5 | 操作方法と注意事項 .....      | 14 | 操<br>作<br>方<br>法<br>と<br>注<br>意<br>事<br>項                          |
| 6 | 故障とその処置 .....        | 19 | 故<br>障<br>と<br>そ<br>の<br>処<br>置                                    |
| 7 | 維持管理 .....           | 20 | 維<br>持<br>管<br>理   |
| 8 | 万一の時は .....          | 21 | 万<br>一<br>の<br>時<br>は  |
| 9 | アフターサービス .....       | 21 | ア<br>フ<br>タ<br>ー<br>サ<br>ー<br>ビ<br>ス                               |



# 1. 仕様 (付属部品)

## ●仕様

| 型 式       | BAC-LTN                   | BAC-LTS              | BAC-LRN           | BAC-LRS           | BAC-LUS           |        |
|-----------|---------------------------|----------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------|
| 切替信号用スイッチ | 無し                        | 有り                   | 無し                | 有り                | 有り                |        |
| 最大容量      | 300 kg/h                  |                      |                   |                   |                   |        |
| 使用ガス      | LPガス (液化石油ガス)             |                      |                   |                   |                   |        |
| 切替機構      | 機械式半自動切替方式                |                      |                   |                   |                   |        |
| 設置条件      | 屋内及び屋外                    |                      |                   |                   |                   |        |
| 必要容器圧力    | (切替設定圧力+0.03MPa) ~1.53MPa |                      |                   |                   |                   |        |
| 切替設定圧力範囲  | 0.05~0.15MPa              |                      |                   |                   |                   |        |
| リセット必要圧力  | 0.03MPa以上                 |                      |                   |                   |                   |        |
| 切替作動誤差範囲  | ±0.01MPa                  |                      |                   |                   |                   |        |
| 耐圧試験圧力    | 2.7MPa                    |                      |                   |                   |                   |        |
| 気密試験圧力    | 2.0MPa                    |                      |                   |                   |                   |        |
| 面間寸法      | 左 右                       | 280 mm               | 280 mm            | 146 mm            | 146 mm            | 600 mm |
|           | 出 口                       | 132 mm               | 132 mm            | 120 mm            | 120 mm            | 292 mm |
| 接続口径      | 入 口                       | 20A (JIS 20K フランジ相当) |                   |                   |                   |        |
|           | 出 口                       | 20A (JIS 20K フランジ相当) |                   |                   |                   |        |
| 概略質量      | 10.5 kg                   |                      | 10.5 kg           |                   | 29 kg             |        |
| 備考        | BAC-BTNと<br>互換性有り         | BAC-BTSと<br>互換性有り    | BAC-BRNと<br>互換性有り | BAC-BRSと<br>互換性有り | BAC-BUSと<br>互換性有り |        |

仕  
様

## ●付属部品

| 型 式                   | BAC-LTN、BAC-LTS、BAC-LRN、BAC-LRS |           |
|-----------------------|---------------------------------|-----------|
| 部 品 名 称               | 数 量                             | 備 考       |
| 1/4 B ストップバルブ         | 1                               | 切替圧力検出用配管 |
| 1/4 高圧ニップル            | 1                               | 切替圧力検出用配管 |
| 銅パイプ φ 6              | 10 m                            | 切替圧力検出用配管 |
| 銅管用継手 KC 6 - R 1/4 B  | 1                               | 切替圧力検出用配管 |
| 銅管用継手 KLN 6 - R 1/4 B | 1                               | 切替圧力検出用配管 |

| 型 式                   | BAC-LUS |           |
|-----------------------|---------|-----------|
| 部 品 名 称               | 数 量     | 備 考       |
| 1/4 B ストップバルブ         | 1       | 切替圧力検出用配管 |
| 1/4 高圧ニップル            | 1       | 切替圧力検出用配管 |
| 銅パイプ φ 6              | 10 m    | 切替圧力検出用配管 |
| 銅管用継手 KC 6 - R 1/4 B  | 1       | 切替圧力検出用配管 |
| 銅管用継手 KLN 6 - R 1/4 B | 1       | 切替圧力検出用配管 |
| 3/4 フランジパッキン          | 3       | 接続配管部品    |
| M 1 2 六角ボルト           | 12      | 接続配管部品    |
| M 1 2 バネ座金            | 12      | 接続配管部品    |

## 2. 外形寸法

●BAC-LTN  
BAC-LTS

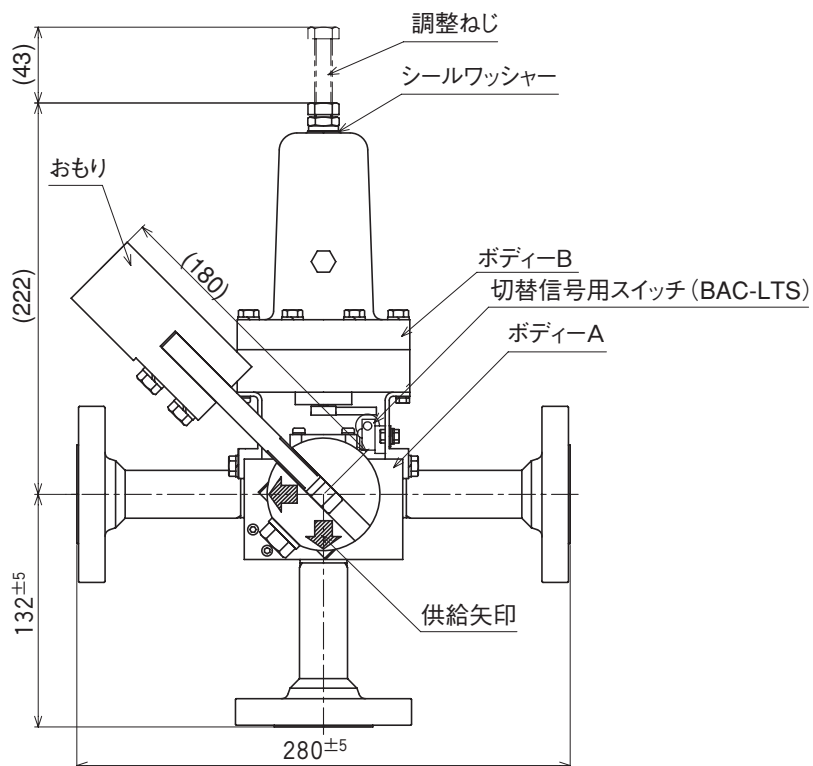


図-1

●BAC-LRN  
BAC-LRS

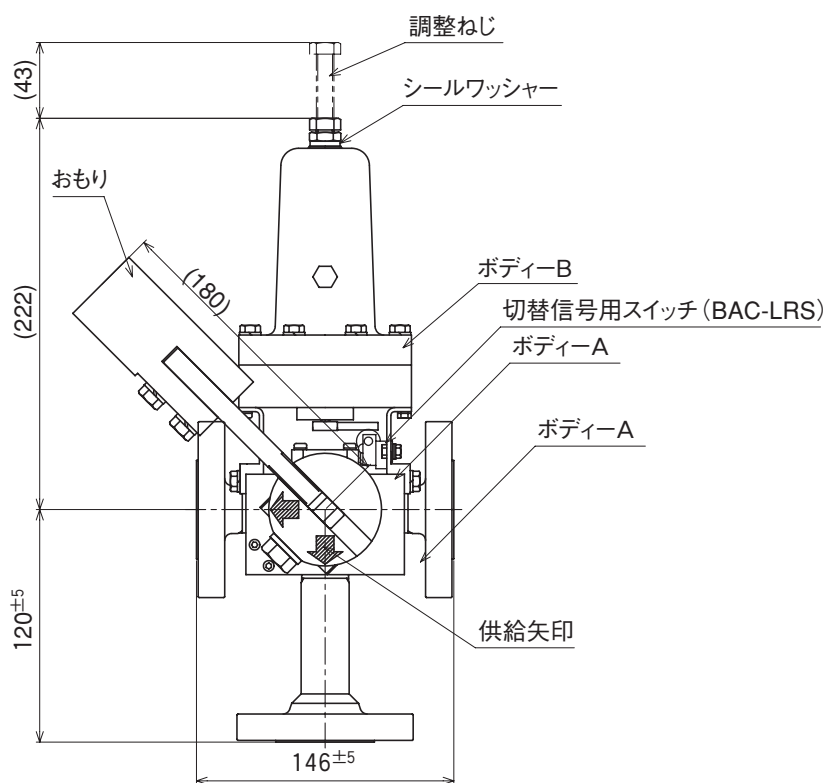
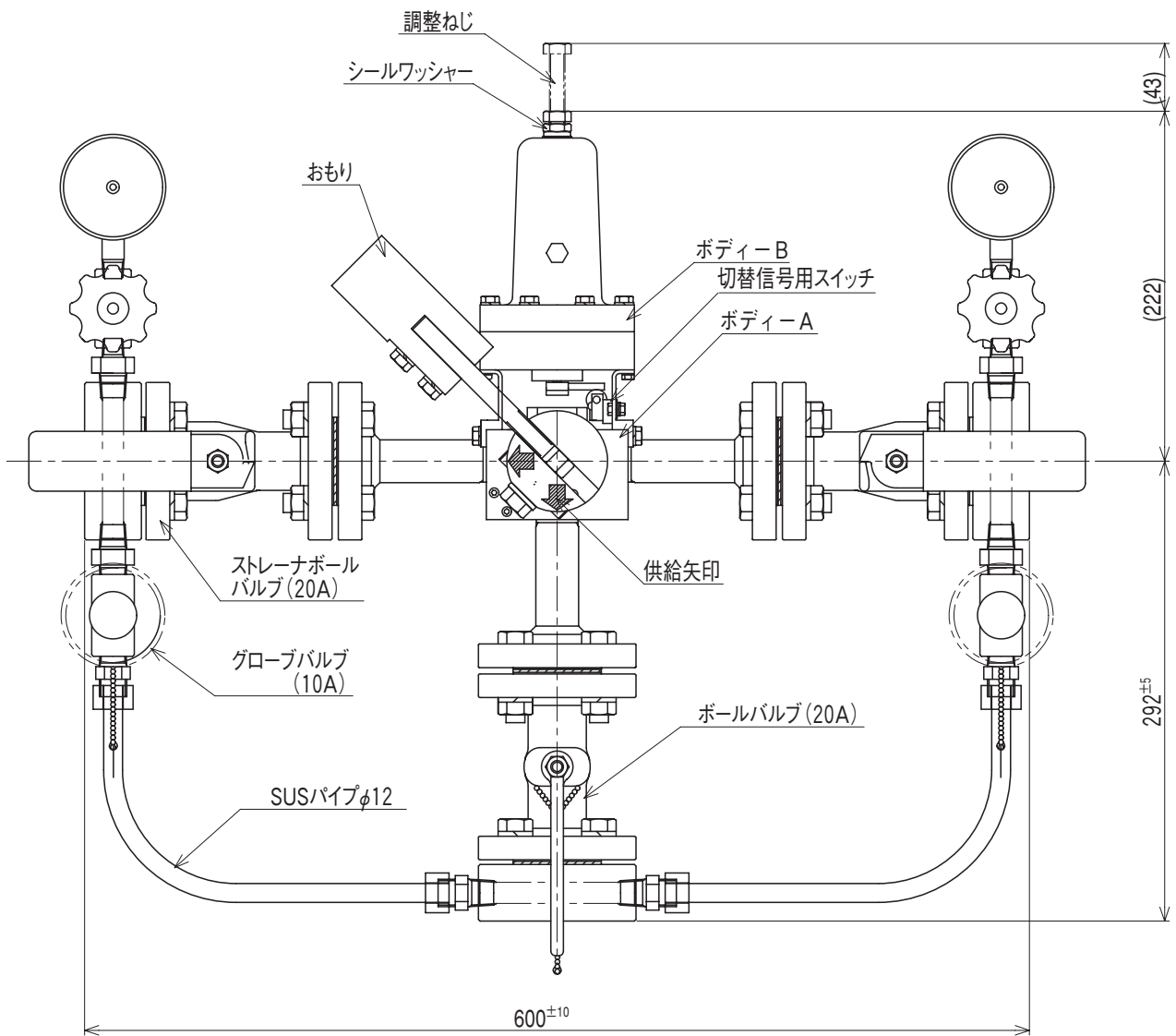


図-2



●BAC—LUS



図— 3

## 3. 設置・施工方法及び注意事項

### 3-1 全型式共通の設置・施工時の注意事項

- 1) 本体前面には、おもりの操作ができる空間を設けてください。(図-4 参照)
- 2) 本体の周囲は点検・修理等の作業に支障のないような空間を設けてください。
- 3) 本体両側の液配管には、自重をサポートするための架台を設け、本体は極力垂直になる様に取付けてください。
- 4) 本体と LP ガス液出入口配管の接続は、配管内のスケール・ゴミ等を十分除去した後、行ってください。
- 5) 配管のひずみ等の外力が加わらないように処置してください。
- 6) 切替圧力検出部の配管は、付属の部品を使用してアロライザーの2次圧力部に接続してください。詳細は 10～12 ページを参照してください。
- 7) おもりは、本体を配管に接続した後に取付けてください。  
おもりは図5、6、7、8に示す様にボルトを下側から挿入し、固定してください。
- 8) 本体設置後、漏えい検査を実施し、接続部に漏れがないことを確認してください。
- 9) 積雪地では、本体に直接雪が積もらない様な措置を講じてください。
- 10) フランジパッキンにガスケットシール剤等を塗布する時は過剰にならないよう、薄く塗布してください。



本体前面に十分な空間が無いと、おもりがセットできずガス供給停止の原因となります。



おもりを取付けた状態で本体を設置するとおもりが落下することがありますので、おもりは、本体を配管に接続した後に取付けてください。

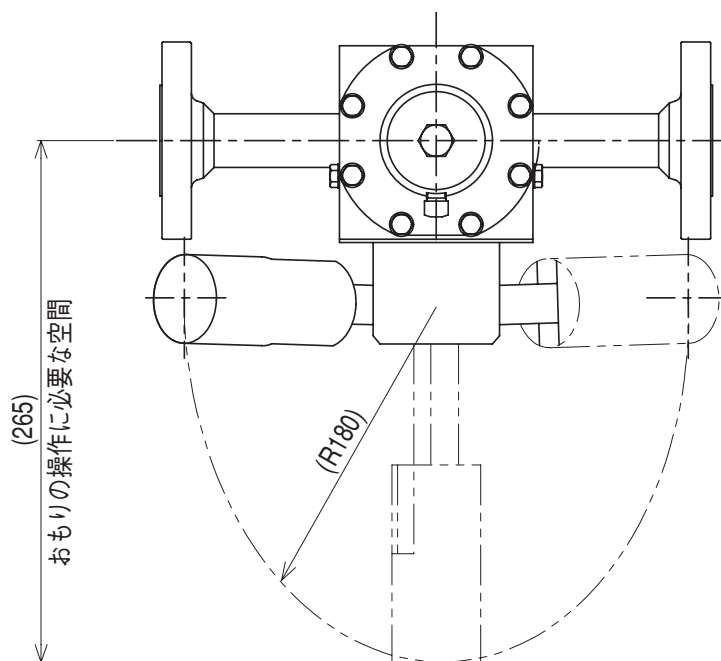


図-4 (機器を上面から見た図)

### 3-2 BAC-LTN、BAC-LTSの設置・施工方法及び注意事項

- 1) 本体の入口には、必ずストレーナボールバルブ (BM-20KFT-20A) を設けてください。
- 2) 定期点検及び修理等を考慮し、液配管には必ずバイパスラインを設けてください。  
(図-5 参照) 尚、ストレーナボールバルブ、ボールバルブ、フランジパイプ、ボルト、ネジ、ナット及びパッキン類は現地にて手配してください。

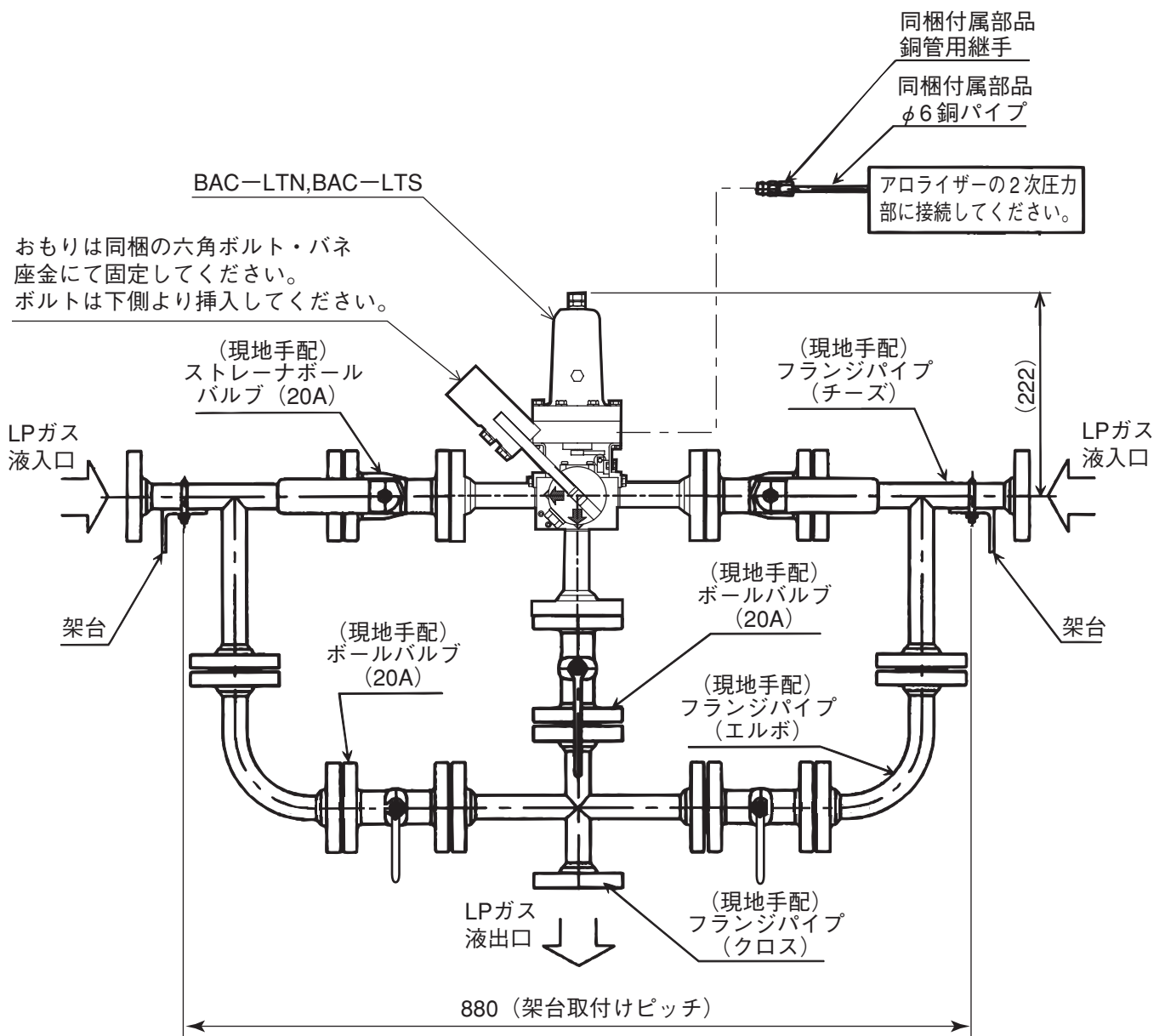


図-5

### 3-3 BAC-LRN, BAC-LRSの設置・施工方法及び注意事項

- BAC-PFBの代替工事を行う場合には、ストレーナ (M20KFTLM)、M12 六角ボルト (40mm、50mm)、バネ座金及びフランジパッキンを現地にて手配し施工を行ってください。切替圧力検出部はBAC液出口配管よりボスを出し付属の部品を使用し、接続してください。

(図-6参照)

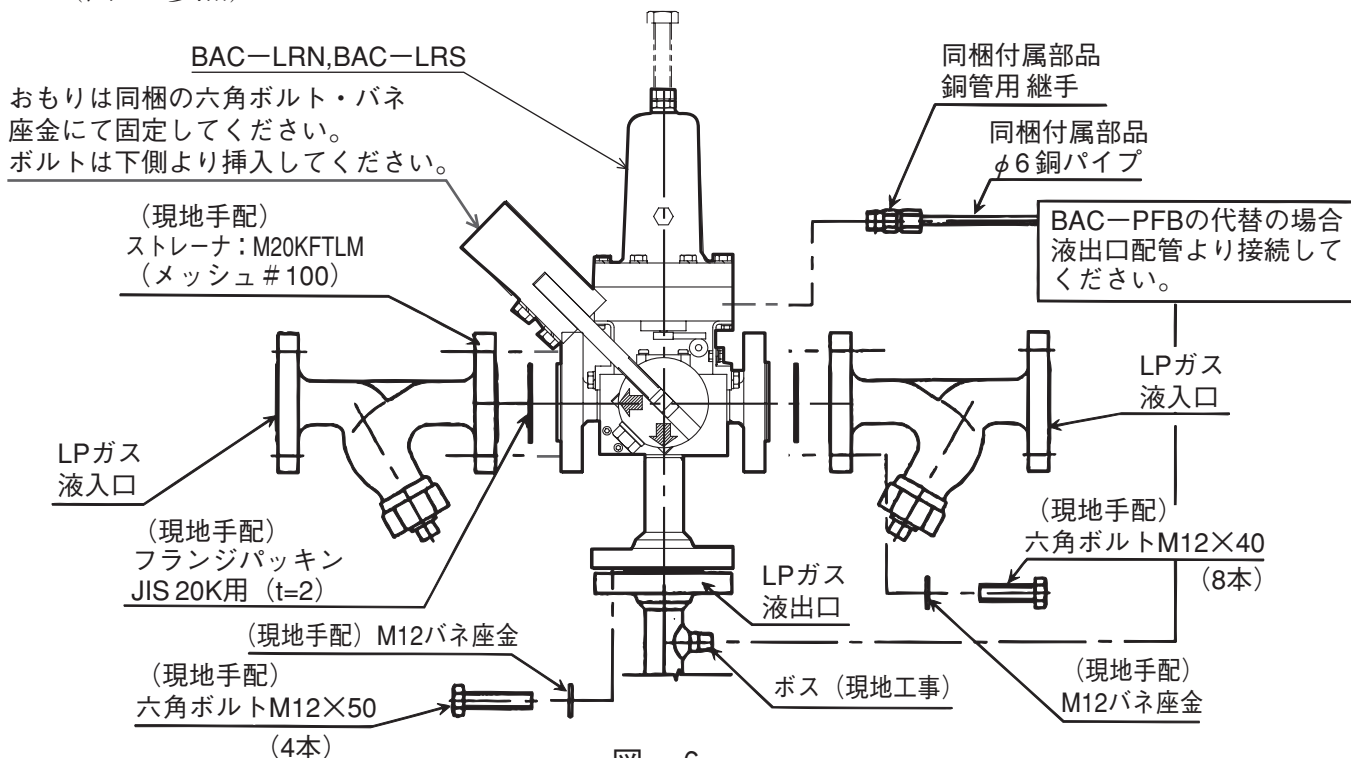


図-6

- BAC-RSの代替工事を行う場合には、ストレーナ (M20KFTLM) は、BAC-RSの部品を使用しM12 六角ボルト (40mm、50mm) バネ座金及びフランジパッキンを現地にて手配し施工を行ってください。切替圧力検出部の配管はBAC-RSのφ6銅パイプを使用し、付属品の銅管用継手に交換し、接続してください。(図-7参照)

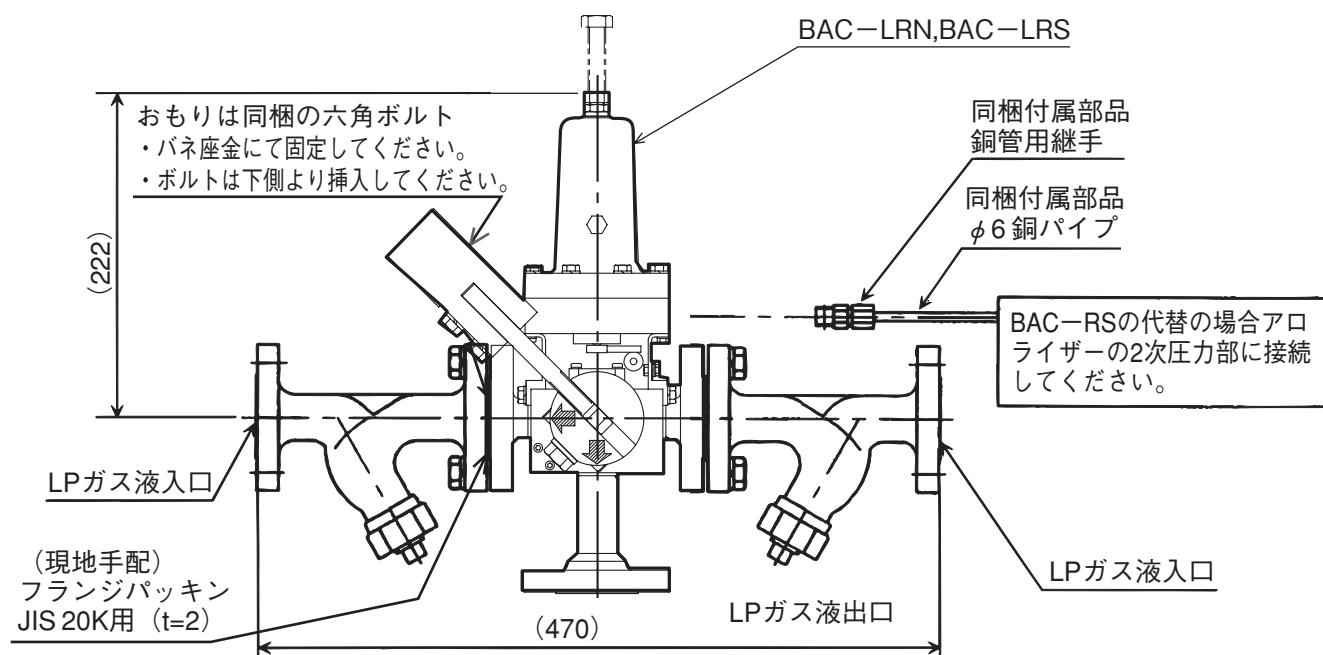


図-7

### 3-4 BAC-LUSの設置・施工方法及び注意事項

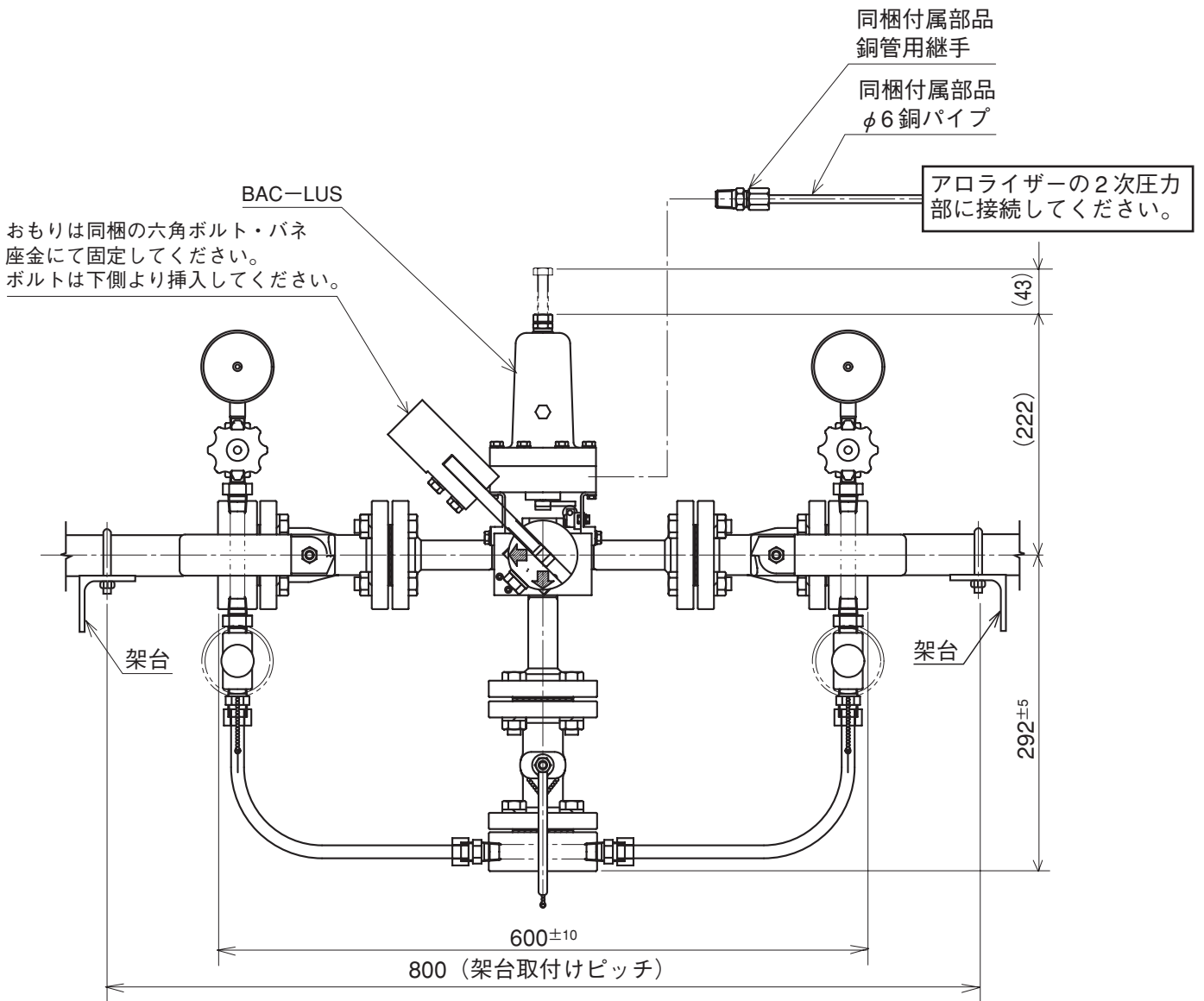



図-8

### 3 - 5 BAC-LTS, BAC-LRS, BAC-LUSの切替信号電気工事の注意事項

- BAC-LTS, BAC-LRS, BAC-LUSの設置場所は危険場所の2種場所になります。
- 切替信号電気工事は、下記の事項に従って、施工してください。

|   |  |
|---|--|
|  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 電気工事は、電気工事士が行ってください。</li> <li>2) BACの設置場所は危険場所のため、電気設備は必ず防爆電気配線工事を行ってください。</li> <li>3) 上記防爆電気配線工事の詳細は、産業安全協会発行の『工場電気設備防爆指針（ガス蒸気防爆）』を参照してください。</li> <li>4) 本質安全防爆構造リレーの接地端子（G端子）は単独に接地工事をしてください。接地抵抗は100Ω以下です。</li> </ol> |
|---|--|

- BACの切替信号スイッチと切替中継盤・切替表示盤・情報管理型制御盤の接続方法

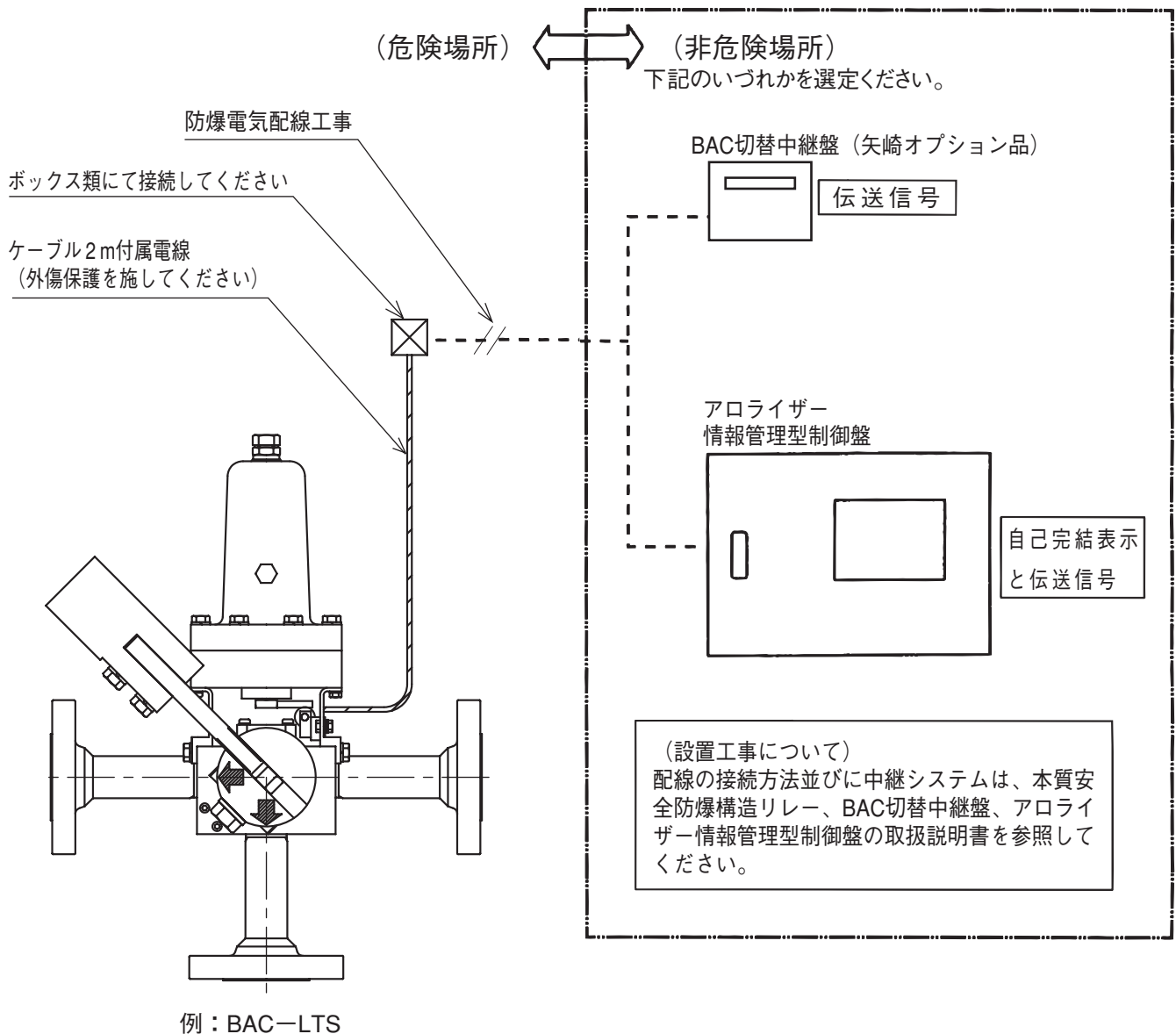
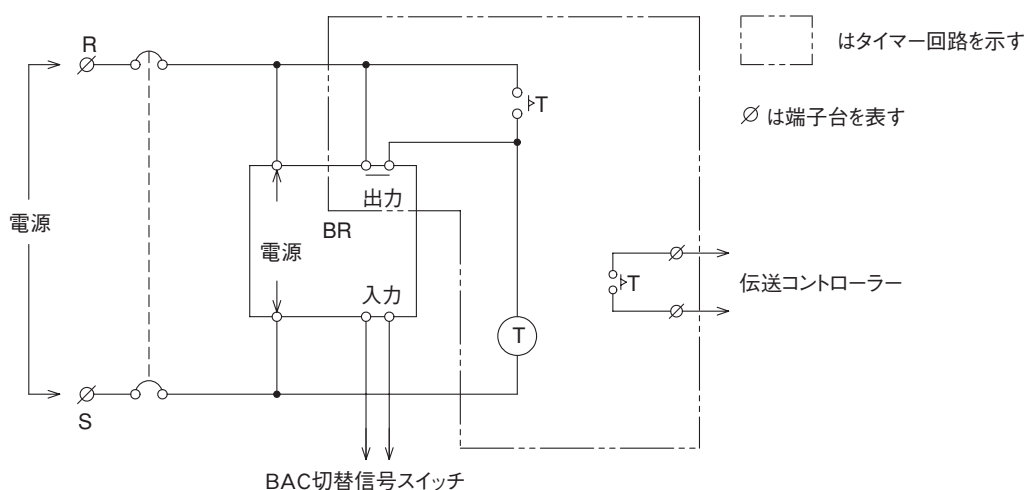
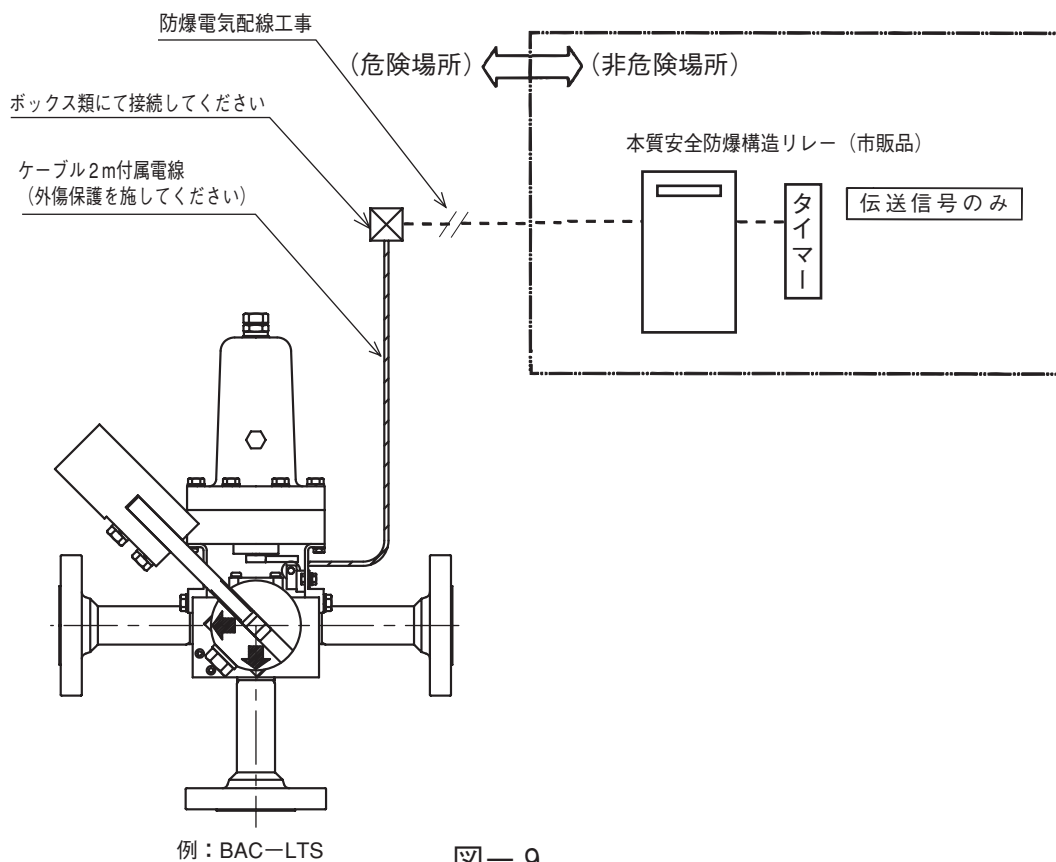


図-9

●BACの切替信号スイッチと市販品本質安全防爆構造リレーの接続方法

- 1) 市販品の本質安全防爆構造リレーを使用する場合には、BACから発信される切替信号を2～5秒程度保持する様に本質安全防爆構造リレーの出力にタイマー回路を設け、そのタイマー出力を伝送コントローラに接続してください。



| 記号 | 部品名称          | 型式                             | メーカー | 個数 | 特記事項             |
|----|---------------|--------------------------------|------|----|------------------|
| T  | タイマー          | H3YN2 AC100V<br>ソケット(PYF08A含む) | オムロン | 1  | パルス動作に設定         |
| BR | 本質安全<br>防爆リレー | —                              | —    | 1  | 爆発等級:1<br>発火度:G2 |

図-10 (回路図の例)

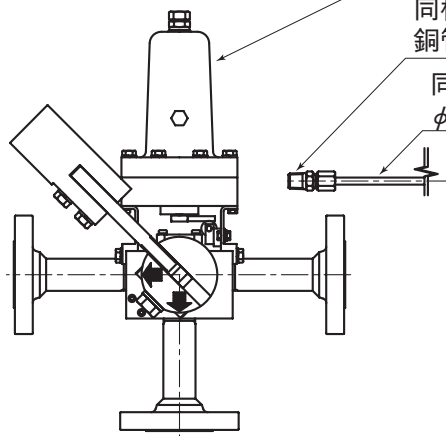
### 3-6 LPガス液切替装置とアロライザーの切替圧力検出配管接続について

●LPガス液切替装置とアロライザー（VP-K10ES, VP-K30ES）の施工方法は下記の要領にて行ってください。

LPガス液切替装置  
(例: BAC-LTS)

同梱付属部品  
銅管用継手 (KC6-R1/4B)

同梱付属部品  
φ6銅パイプ (10m)



(アロライザーのキャビネット分解手順)

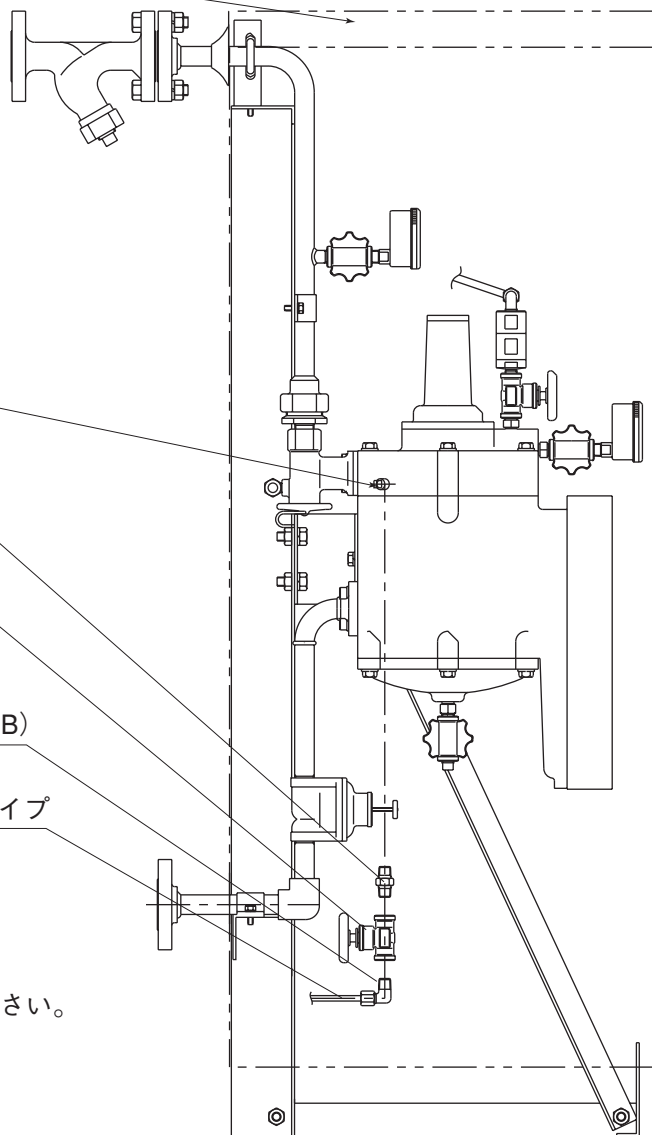
- 手順1. 前板アッシーを外してください。
- 手順2. 天板、左側板のネジを外してください。
- 手順3. 天板、左側板を外してください。
- 注) 詳細はアロライザーの設置・施工説明書を参照してください。

(切替圧力検出配管)

- 手順4. 1/4 B プラグを外し、付属品①～④を取付けてください。
- 1/4 B ストップバルブを締込む時は、ハンドルを取り外してから締込んでください。

- ①同梱付属品  
1/4 高圧ニップル
- ②同梱付属品  
1/4 B ストップバルブ
- ③同梱付属部品  
銅管用継手 (KLN6-R1/4B)
- ④同梱付属部品: φ6銅パイプ

注) キャビネットの下をくぐらせてください。



手順5. 切替圧力検出配管の漏えい検査を実施してください。

手順6. キャビネットを元通りに組立ててください。

図-11



●LP ガス液切替装置とアロライザー（VP-S50EC, VP-S100EC）の施工方法は下記の要領にて行ってください。

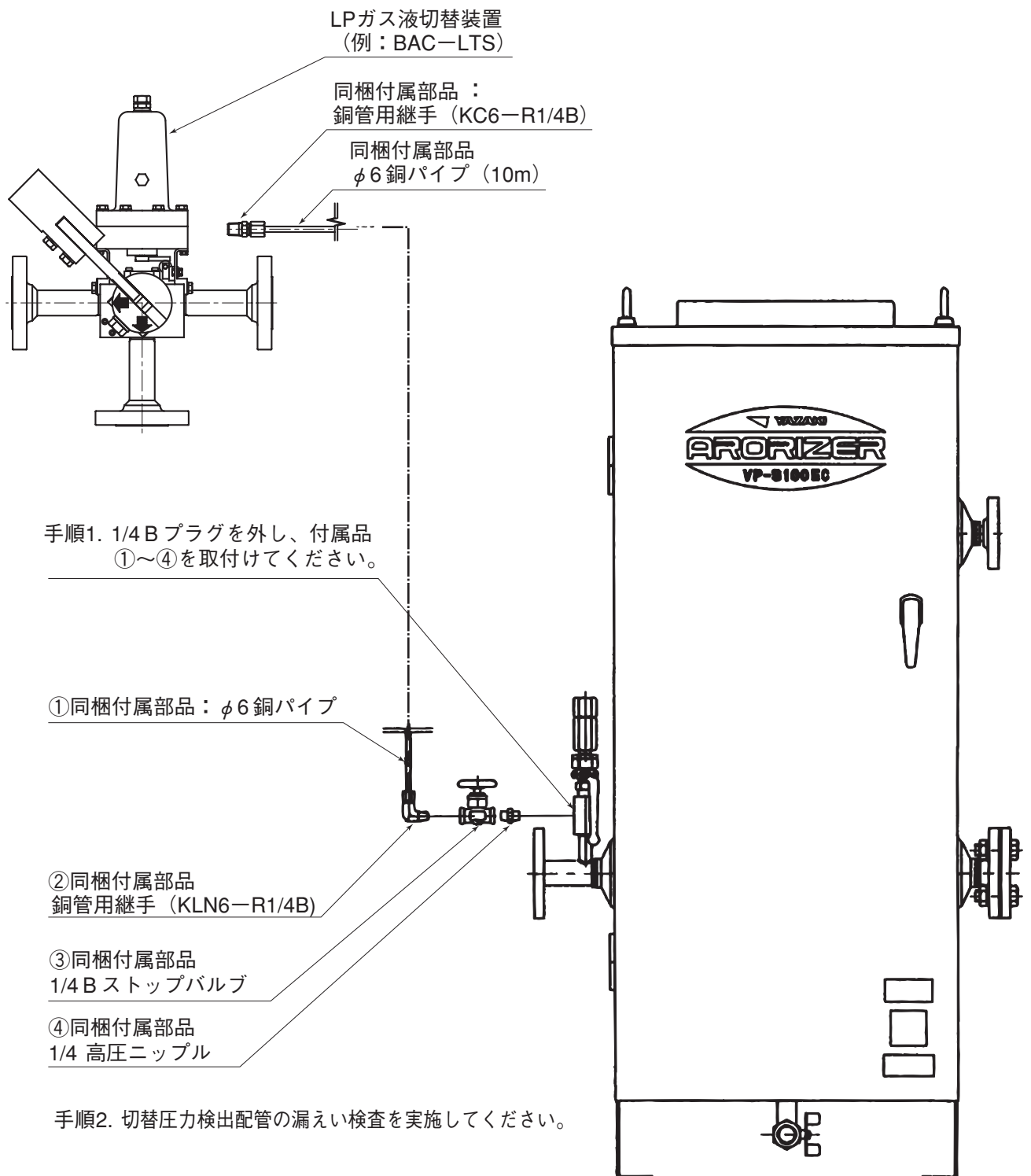


図-12

●LP ガス液切替装置とアロライザー（VP-S150EC, VP-S200EC, VP-S200WC, VP-S300WC）の施工方法は下記の要領にて行ってください。

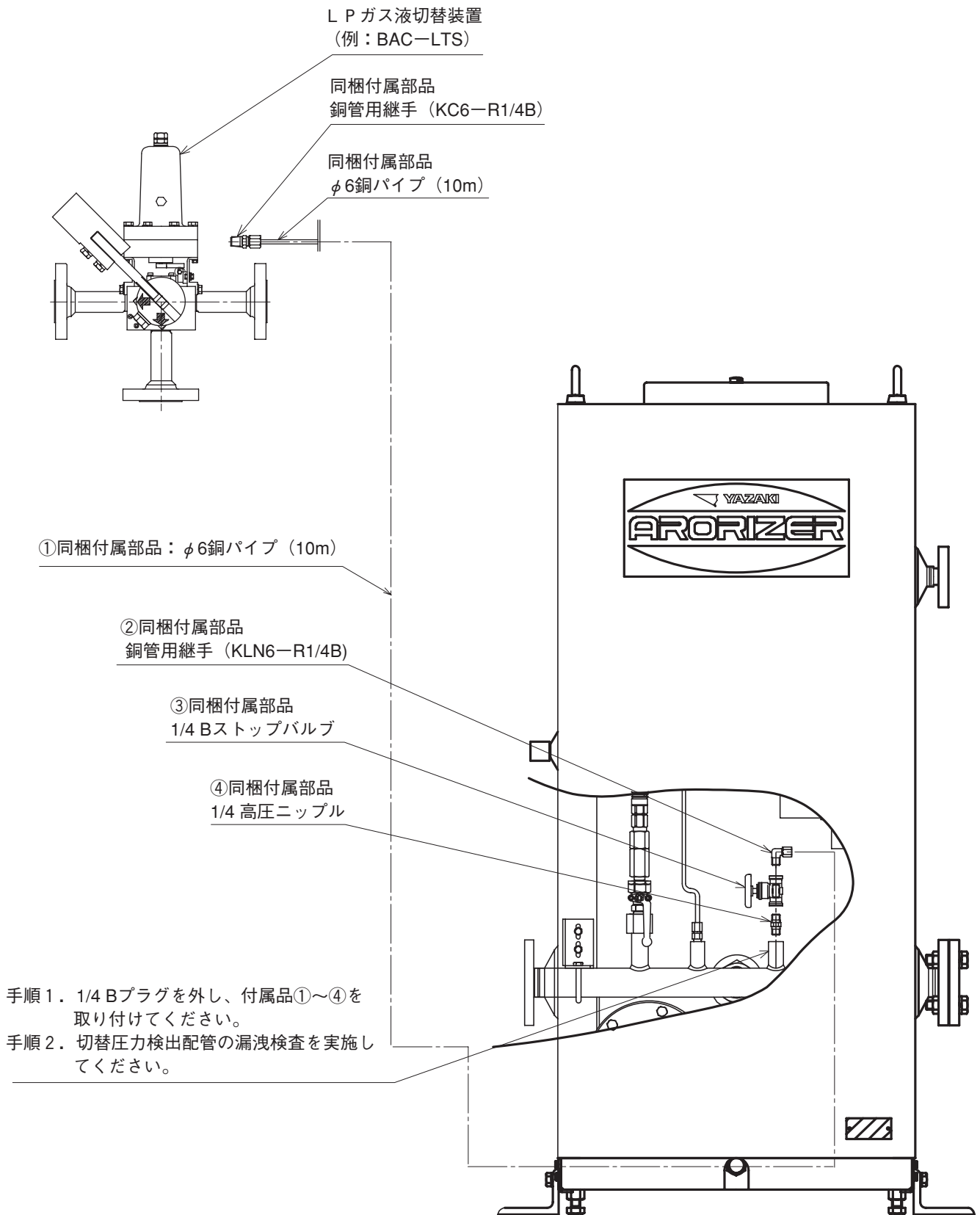
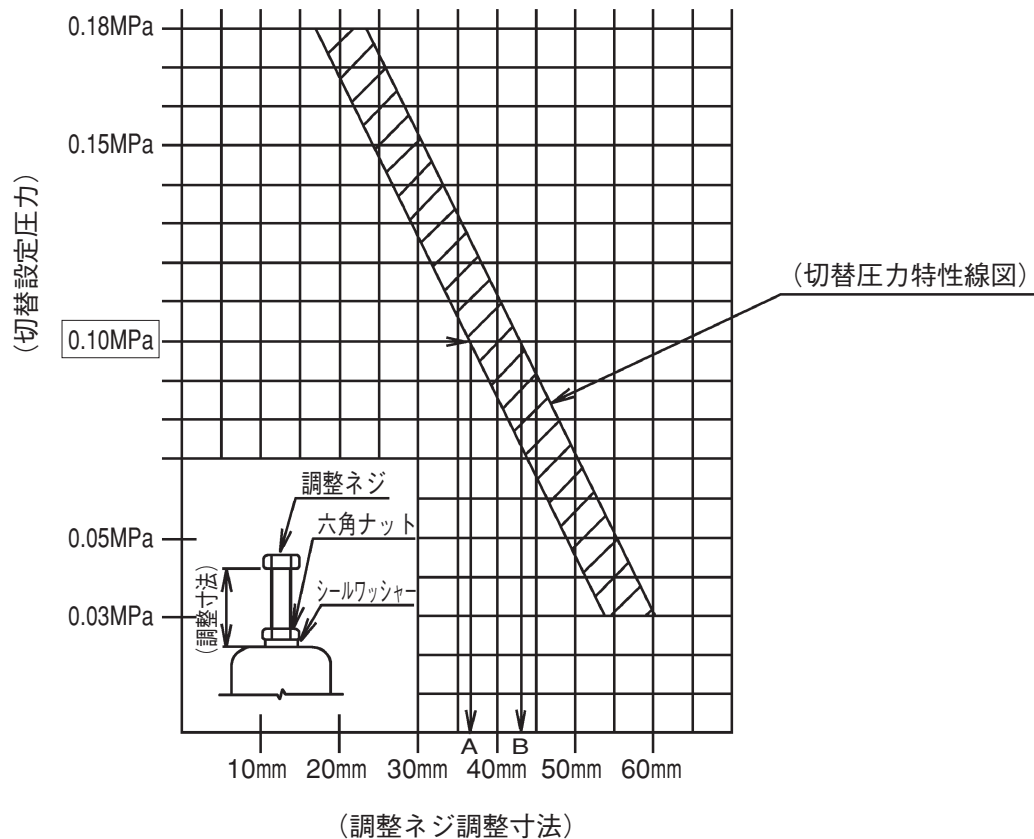


図-13

## 4. 切替圧力の設定方法と注意事項

- 1) 切替圧力の設定及び変更は、六角ナットをゆるめ、調整ネジにて0.05MPa～0.15MPaの範囲で任意の切替圧力に設定してください。
- 2) 切替圧力は、下表にある切替圧力特性線図の調整ネジ高さで概略確認できますが正確な切替圧力は、ガス使用流量を最大の状態にし、アロライザー内の2次圧力にて設定してください。

切替圧力はおもりが降下する時の圧力を示します。



(例) 切替圧力を 0.10MPa に設定する場合は、縦軸の 0.10MPa と特性線図の交差した点を下に降ろし横軸の調整ネジ調整寸法の A : 37mm ~ B : 43mm に換算する。

切替圧力を 0.10MPa にする場合は、調整ネジの高さを 37mm ~ 43mm に調整する。

- 3) リセット必要圧力は、切替圧力 + 0.03MPa 以上必要となります。  
容器群の圧力計指示がリセット必要圧力以上あることを確認してください。  
(例) リセット必要圧力 :  $0.10\text{MPa} + 0.03\text{MPa} = 0.13\text{MPa}$  以上必要となります。
- 4) 切替圧力を設定した後、アロライザーの2次圧力計にて切替設定圧力を確認して六角ナットを締め、シールワッシャーを固定してください。

### ▲ 注意

六角ナットが緩んでいる場合は、シールワッシャーのシール不足により雨水が侵入します。切替設定圧力調整後は、必ず六角ナットを締めてください。

## 5. 操作方法と注意事項

### 5-1 試運転

- 1) LPガス液切替装置の入口、出口、バイパスバルブ及びアロライザー入口出口バルブ並びにアロライザーに取付けた切替圧力検出配管の1/4Bストップバルブが閉じられていることを確認した後、左右の液相容器バルブ、ヘッダーバルブをゆっくり開いてください。
- 2) LPガス液切替装置入口の左右のバルブをゆっくり開いてください。



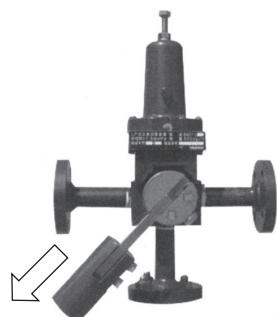
左右のバルブを同時には開かないでください。

- 3) LPガス液切替装置の出口及びアロライザーの入口バルブをゆっくり開いてください。
- 4) 切替圧力検出配管の圧力が0 MPaの状態では、下図に示すようにおもりが下に下がっています。アロライザー本体に取付けられた切替圧力用配管の1/4Bストップバルブをゆっくり開いてください。
- 5) リセットの操作方法  
おもりの位置を確認してから操作してください。

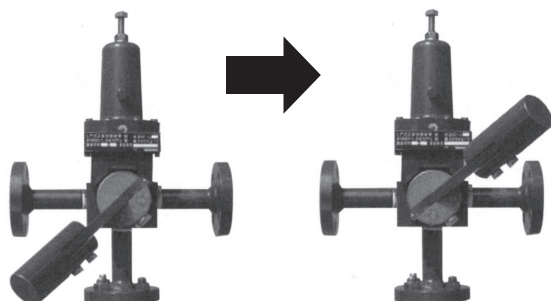


おもりが上にある場合は16ページを参照してください。

●左下側におもりがある場合

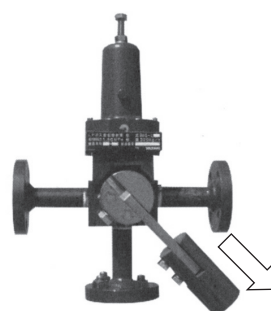


- a. おもりを左下に引き下げた後、手前に引き右上に持ち上げてください。

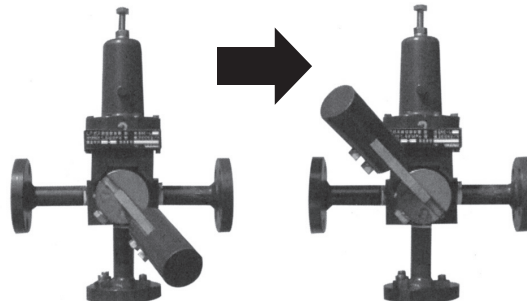


- b. おもりを右上に持ち上げてください。

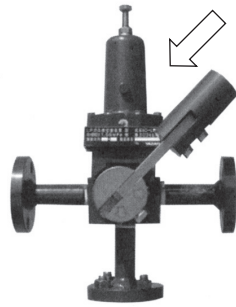
●右下側におもりがある場合



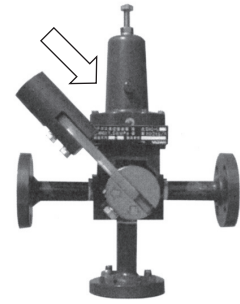
- a. おもりを右下に引き下げた後、手前に引き左上に持ち上げてください。



- b. おもりを左上に持ち上げてください。



c. おもりを左下に押し込むと、おもりが右上の位置で固定されます。

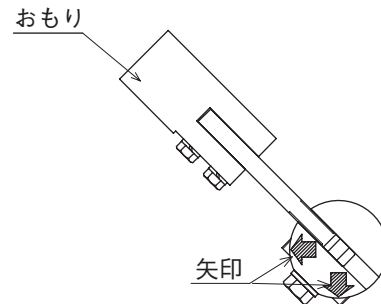
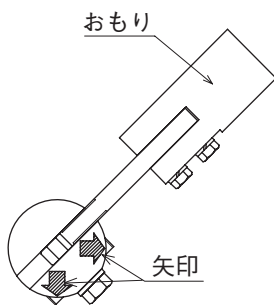


c. おもりを右下に押し込むと、おもりが左上の位置で固定されます。


- 6) アロライザーは運転状態にあることを確認した後、アロライザーの出口バルブをゆっくり開いてください。
- 7) 使用側容器を下図に示すように切替表示の矢印にて確認してください。

●右側からの供給（例：セット状態）

●左側からの供給（例：セット状態）



- 8) 使用側容器の LP ガス液切替装置の入口バルブを閉止し予備側容器に切替わることを確認してください。
- 9) 8) の切替動作を確認した後は、残液量の少ない方が使用側となるように 14 ページの 5) の操作を行ってください。
- 10) 切替動作確認後、本体左右のバルブは全開の状態にしてください。

|   |   |
|---|---|
|  | <p>切替動作確認後、本体左右のバルブを全開にしないと、ガス供給停止の原因となります。</p> |
|---|---|

## 5-2 容器交換時のおもり操作

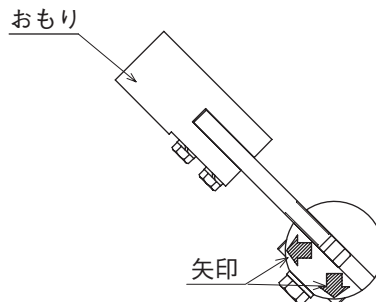
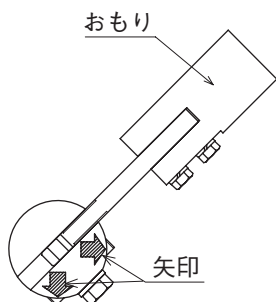


容器交換時におもりを操作しないとガス供給停止の原因となります。

1) おもりの位置を確認してください。

a. おもりが上方にある場合

おもりが上方にある場合は使用側の容器に残ガスがあり、切替り前となっています。



容器を交換する場合は、18ページの「手動切替動作の方法について」に従い、おもりを下側に下げてから下記に示す「b. おもりが下方にある場合」の操作を行ってください。

b. おもりが下方にある場合

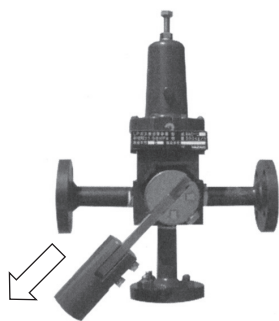
おもりが下方にある場合は片側の容器が「から」の状態を示しています。

●左下側におもりがある場合

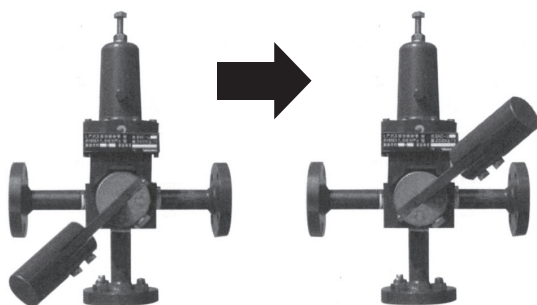
(左側の容器が「から」の状態です)

●右下側におもりがある場合

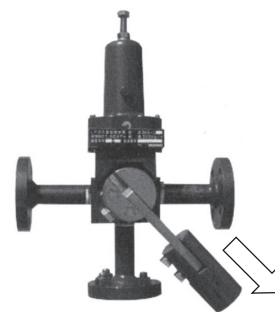
(右側の容器が「から」の状態です)



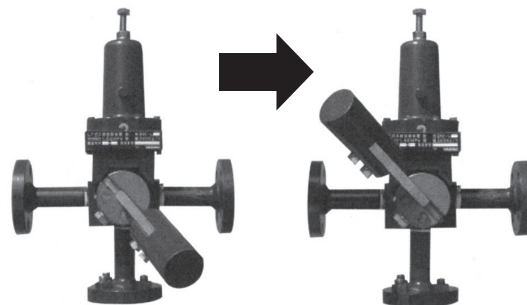
a. おもりを左下に引き下げてから、手前に引き右上に持ち上げてください。



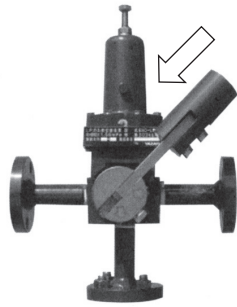
b. おもりを右上に持ち上げてください。



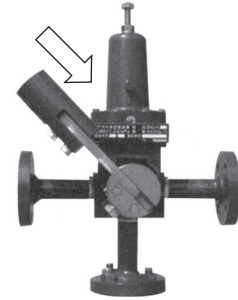
a. おもりを右下に引き下げてから、手前に引き左上に持ち上げてください。



b. おもりを左上に持ち上げてください。



c. おもりを左下に押し込むと、おもりが右上の位置で固定されます。



c. おもりを右下に押し込むと、おもりが左上の位置で固定されます。

## 5-3 手動切替動作の方法について

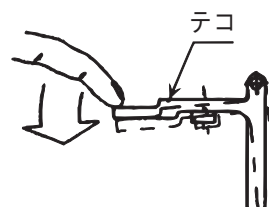
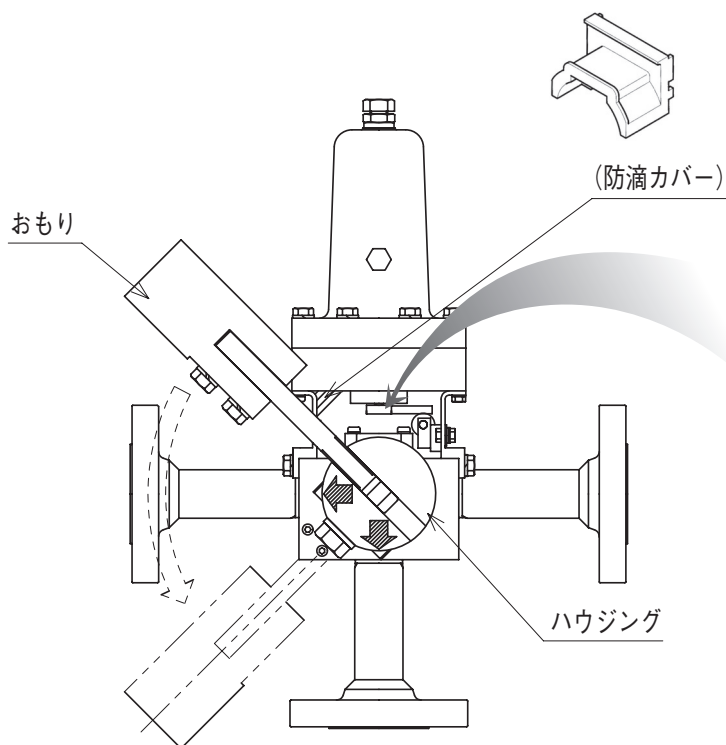
- 1) 下図に示すように LP ガス液切替装置の化粧ゴムを外してください。
- 2) 化粧ゴムを外すと下図に示す位置にテコがあり、下図のように操作するとおもりが下がり切替わります。



おもりが落下する位置に人体や物があると落下したおもりが当り危険です。  
おもりが落下する位置に人体がないことを確認してから操作してください。

- 3) 手動切替作動終了後は、14ページ 5) の操作を行った後に、15ページ 7) の使用側容器の確認を行ってください。

例：おもりが左上にある場合



(操作方法)

テコの先端を指で押し下げてください。  
押すとハウジングのロック機構が外れ  
おもりが下がります。

- 4) 操作終了後は、防滴カバーをもとの状態に取付けてください。



操作終了後に、防滴カバーをもとの状態に取付けないと、ゴミ、雨水等が浸入し機器の故障の原因となりますので、防滴カバーは必ずもとの状態に取付けてください。



## 6. 故障とその処置

使用中に普段と違った状態になった場合や、不具合が生じた場合は、次により調査を行い適切な処置を行ってください。

尚、正常に戻らない場合及び処置の不明な場合は、LPガス供給業者又は担当するサービス指定店に連絡してください。

| 異常内容                          | 異常原因               | 次のように処置してください。                |
|-------------------------------|--------------------|-------------------------------|
| 1. おもりが上方に固定できない              | ・ 容器圧力の不足          | ・ LPガス供給業者へ連絡してください。          |
|                               | ・ 容器に液がない          |                               |
| 2. 供給圧力が異常に下がる<br>又は消費先で火が消える | ・ 切替設定圧力が低すぎる      | ・ 切替設定圧力を高くしてください。            |
|                               | ・ φ6銅パイプのつぶれ       | ・ LPガス供給業者へ連絡                 |
|                               | ・ ストレーナのつまり        |                               |
| 3. 容器に残液量が多い                  | ・ 切替設定圧力が高すぎる      | ・ 切替設定圧力を低くする                 |
|                               | ・ 容器の圧力が低すぎる       | ・ LPガス供給業者へ連絡してください。          |
|                               |                    | ・ プロパン分の多いガス組成に替えてください。       |
|                               | ・ φ6銅パイプのつぶれ       | ・ LPガス供給業者へ連絡してください。          |
|                               | ・ 容器接続不備又は容器本数が少ない | ・ LPガス供給業者へ連絡してください。          |
| 4. 使用側、予備側両方の容器内の液が同時になくなる    | ・ 弁内部のシート漏れ        | ・ LPガス供給業者又はサービス指定店へ連絡してください。 |
|                               | ・ バイパスバルブの閉止不良     | ・ バイパスバルブを完全に閉止するしてください。      |
| 5. 予備側に切替わらない                 | ・ おもりを上方に固定し忘れる    | ・ 取扱説明書に基づく適切な操作を行ってください。     |
| 6. おもりは落ちるが切替信号が送られない         | ・ 切替スイッチの位置不良      | ・ サービス指定店へ連絡してください。           |
|                               | ・ 切替信号の「ON」時間が短い   |                               |

## 7. 維持管理

### 7-1 定期交換部品

LPガス液切替装置には、ダイヤフラム、Oリング及びOリングアッシー等のゴム部品を使用していますので経年劣化はまぬがれません。又、軸部固定用ネジの緩みが発生する場合があります。ゴム類の劣化及びネジ等の緩みの程度は、使用条件・環境がもたらす複雑な要因によって異なります。長期間安心してご使用いただくため、定められた周期に部品交換及びネジ類の増締め作業を実施してください。

定期の部品交換等の作業には専門の知識及び技能が必要です。弊社では定期点検契約制度を設け、サービス体制を整備しておりますので、お気軽にご用命ください。

定期交換に関するお問い合わせはLPガス供給業者又は、弊社の支社・支店にご連絡ください。

#### ■ 定期交換部品

| No. | 部品名称        | 使用箇所  | 使用数量 | 交換周期・メンテナンス周期 |
|-----|-------------|-------|------|---------------|
| 1   | ダイヤフラム      | ボデーB部 | 1    | 3年以内          |
| 2   | P5 Oリング     | ボデーB部 | 1    | 3年以内          |
| 3   | P5 Oリングアッシー | ボデーB部 | 1    | 3年以内          |
| 4   | ボディーAアッシー   | ボデーA部 | 1    | 5年以内          |
| 5   | 止めネジ類       | ボデーA部 | —    | 5年以内（増締め作業）   |



分解修理を行った場合は、交換周期にかかわらずパッキン類は交換してください。

●使用するLPガスのガス質により点検及び部品の交換周期は異なります。

●交換周期は部品の寿命を示すものではありません。

### 7-2 補修用部品の供給期間について

LPガス液切替装置の補修用部品は生産中止後10年間供給可能とさせていただきます。10年経過後の補修用部品は、納期、価格が通常の供給と著しく異なる場合がありますので担当のサービス指定店又は弊社の支社・支店にお問い合わせください。

## 8. 万一の時は

LPガスの漏えい及び火災・地震等により災害が発生した場合は、次の措置をとってください。

- (1) 設備管理責任者に連絡をしてください。
- (2) LPガスの使用を中止してください。
- (3) LPガスが噴出した場合は、直ちに容器等の元バルブや緊急遮断弁を操作してLPガスの流出防止を行ってください。
- (4) 漏えいしたLPガスに引火しないようにするために、火気の使用を中止し、LPガスの拡散を図ってください。
- (5) 火災が発生した時には、初期消火に努めてください。
- (6) 事故の発生を大声で知らせ、付近の協力を求め、火災が発生したときは付近の住民の避難・誘導を行ってください。
- (7) 必要に応じて消防署（119番）・警察署（110番）、関係官庁に通報し災害の拡大防止を図ってください。

## 9. アフターサービス

### 9-1 製品保証について

ご購入いただきましたLPガス液切替装置は設置後、1年間の製品保証を行っております。

#### (1) 保証の適用

取扱説明書に基づく正常な使用状態で、製造上の責任による故障の場合に限り、設置の日から1年以内は無償にて修理致します。

尚、保証期間経過後に生じた故障は、有償にて修理させていただきます。

詳細は、LPガス液切替装置に添付されている「製品保証書」をご確認ください。

### 9-2 サービスを依頼される場合

- (1) 保証期間を経過した場合及び保証期間内であっても保証書の保証適用除外項目に該当する場合のアフターサービスは有償とさせていただきます。
- (2) 19ページ「6. 故障とその処理」に掲げる処理を行っても不具合がなおらない場合には、LPガス供給業者又は担当のサービス指定店に修理を依頼してください。
- (3) アフターサービスを依頼するときは、次のことをお知らせください。

- ①LPガス液切替装置の型式及び製造番号
- ②設置年月日
- ③現 象
- ④お客様のご住所、お名前、電話番号

*Memo*

A series of horizontal dotted lines for writing.

# Memo

A series of horizontal dotted lines for writing.

アロライザーの維持管理を担当する担当サービス指定店は下記の通りです。

|         |
|---------|
| サービス指定店 |
|---------|



矢崎エナジーシステム株式会社